

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	896.25	2023/11/20
High	939.85	2023/11/22
Low	892.60	2023/11/20
Close	930.60	2023/11/24

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4331.00	2023/11/20
High	4512.00	2023/11/22
Low	4285.00	2023/11/20
Close	4490.00	2023/11/24

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1050.34	2023/11/20
High	1090.16	2023/11/21
Low	1038.64	2023/11/24
Close	1068.80	2023/11/24

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5071.00	2023/11/20
High	5201.00	2023/11/21
Low	5011.00	2023/11/24
Close	5160.00	2023/11/24

 ニュースエクスプレス**南アフリカのプラチナ需要、グリーン水素技術に期待 (抜粋)**

南アフリカのリンボポ州にある大規模な露天掘りのモグラクエナ鉱山ではグリーン水素を使う「nuGen™zero emission haulage solution」が進められており、アングロ・アメリカン・プラチナムが所有するその他の鉱山にも広められる計画だ。

燃料電池自動車の開発では、既にアングロ・アメリカン・プラチナム、南アフリカBMW グループ、サソールが協力している。燃料電池自動車はプラチナを触媒としてグリーン水素をゼロエミッションの電力に変換し燃料として使う。

PGM の供給では世界最大となる南アフリカでは、グリーン水素を使う燃料電池自動車が世界の自動車市場の1割でも使われるようになれば、年間155.5トンにも上るプラチナの需要を生み出すことになるという意味で非常に重要で、PGM 鉱山セクターで働く17万5000人の雇用安定にも役立つ。

南アフリカなど多くの国々では、グリーン水素で走る燃料電池自動車の補給ステーションを含め、官民共同で開発が進んでいる。

Mashudu Ramano 氏がCEOを務めるSouth African Mitochondria Energy Systems は、南アフリカのバーム地方で来年の第1四半期には水素燃料の開発に着手するとしている。2024年には燃料電池の生産を開始し、2028年には商業ベースに載せる予定だ。

<https://www.miningweekly.com/article/green-knowledge-exchange-tender-out-to-boost-hydrogen-acceleration-in-south-africa-2023-11-20>

ジンバブエのプラチナ生産、ピークに

ジンバブエで生産されるプラチナは今年、過去最高の15.6トンに達するが、その数は減っている。世界のプラチナ以外のPGM生産がピークに達するのは2024年とされる。第3四半期は、プラチナ生産が前年比19%増えて2.4トンとなったが、一部には昨年とは選鉱設備が稼働したことも背景にある。2024年のジンバブエのプラチナ生産は0.3%減って(-0.1トン)、15.6トンになる予測。ジムブラツの選鉱設備容量が増えその他生産の足場となっているプロジェクトも完了したにも関わらず、ジンバブエのプラチナ供給は、新たなプロジェクト開発あるいは既存の鉱山の規模拡大が行わなければ、品位の低下と鉱山寿命から少しづつ減ると考えられている。

https://www.heraeus.com/media/media/htm/doc_hgm/precious_metal_update/en_6/Approval_20231120.pdf#msdytr6-PGL7KX1WBHADNWCjnykxsz1aMVCpDjgWjUjY

カナダ、新しいプラチナメッキ純金製の200ドルコインを発表

カナダ造幣局は、額面200ドルの純金プラチナメッキの新しいコインを発表した。

2024プラチナメッキ純金1オンスコインは、「Peace Dollar」と呼ばれ、カナダ造幣局が作るシリーズの5番目となる。造幣局は「それぞれシリーズはカナダが全世界の人権と平和を守っていくことを象徴している。」とコメントしている。



<https://www.mtblog.com/canada-new-coin-royal-canadian-mint>

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

中国自動車メーカーが政府の補助金を受け、欧州同業者よりも有利な状況にあるとして、欧州委員会は関税措置の検討を始めたが、実施されれば欧州の自動車市場の電動化を遅らせる可能性がある。我々の分析では、2025年以降、欧州のバッテリー電気自動車(BEV)の普及率が1%変動することによって年間約0.3トンのプラチナ需要が増減する。欧州のBEVの普及率は中国より約2年遅れているが、その差が3年に延びれば、2025年から2027年の間のプラチナ需要は6.8トン増える。詳細はWPICプラチナ展望9月号その2をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/perspectives/jp/WPIC_Platinum_Perspectives_September_2023_JA.pdf



免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPIの投資提案を構成するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。